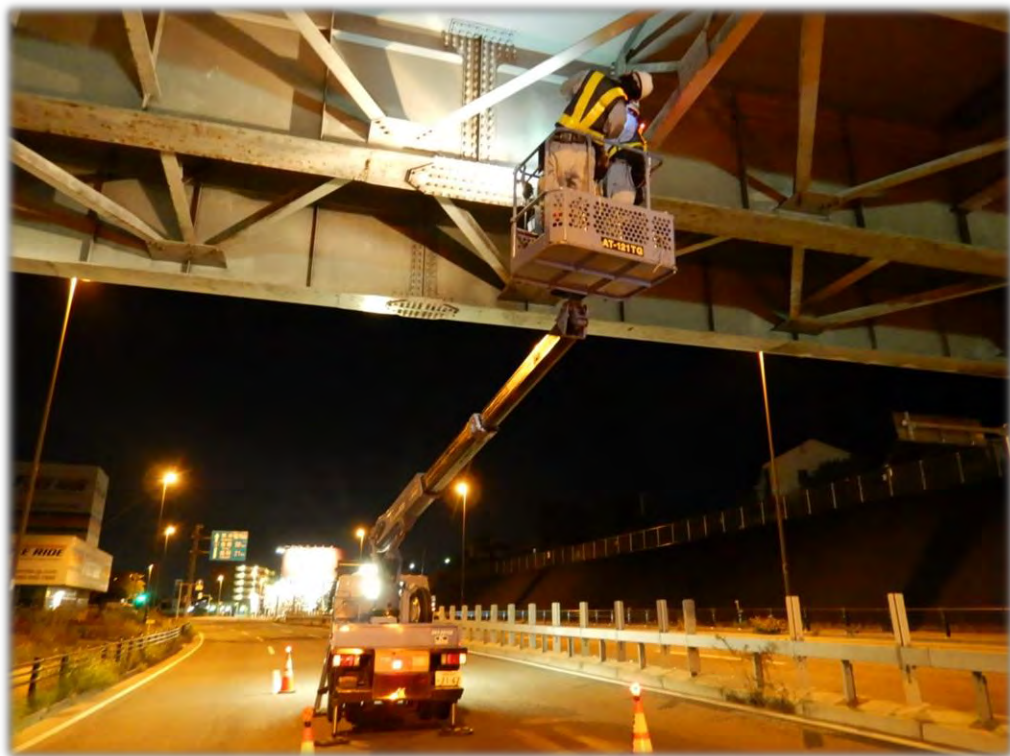


古賀市長寿命化修繕計画 (橋梁・道路附属物等)



久保跨道橋

令和5年1月
(令和8年2月一部改訂)



古賀市

1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

管理橋梁の現状と課題を踏まえ、老朽化する道路橋が増大していくなか、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び計画的な架替えへと移行することにより、橋梁の長寿命化、維持更新費の縮減、予算の平準化を図りつつ、道路利用者や第三者に対する安全性・信頼性を確保することを目的とします。

1.1 計画策定の背景と経緯

古賀市では、平成23年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、管理橋梁に対し計画的な維持管理に取り組んできました。

一方、平成26年7月に道路法施行規則の一部を改正する省令が施行され、5年に1回の近接目視による定期点検が義務付けられました。これにより、道路法の改正を踏まえ、近接目視による点検や診断を実施した結果、早期補修が必要となる橋梁が顕在化したこともあり、今後10年間の計画的な維持管理方針を定める橋梁長寿命化修繕計画を策定するものです。



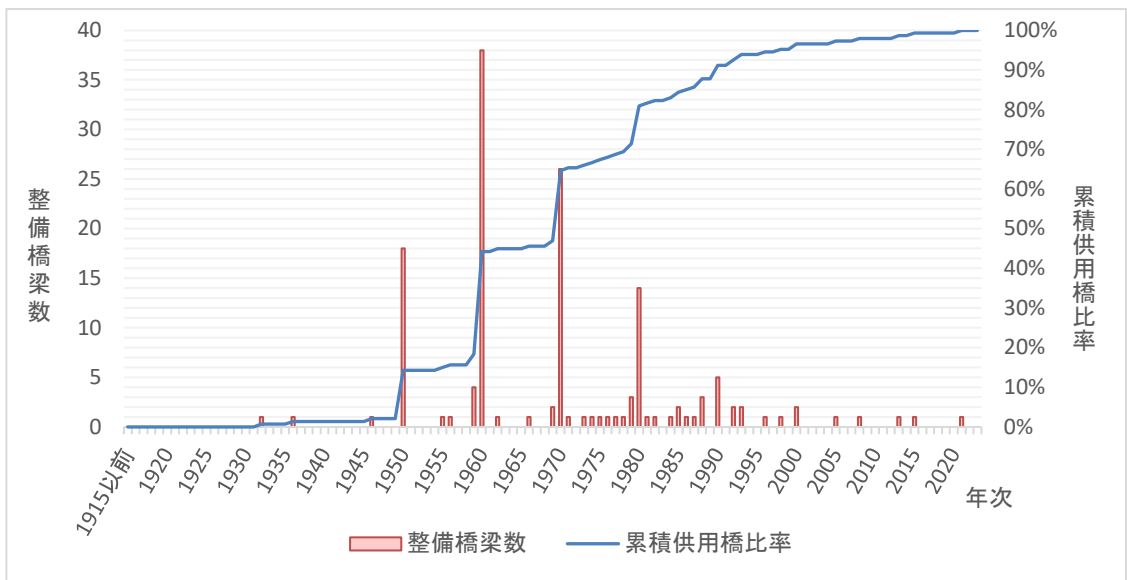
[早期補修が必要となる橋梁]

1 橋梁長寿命化修繕計画の目的

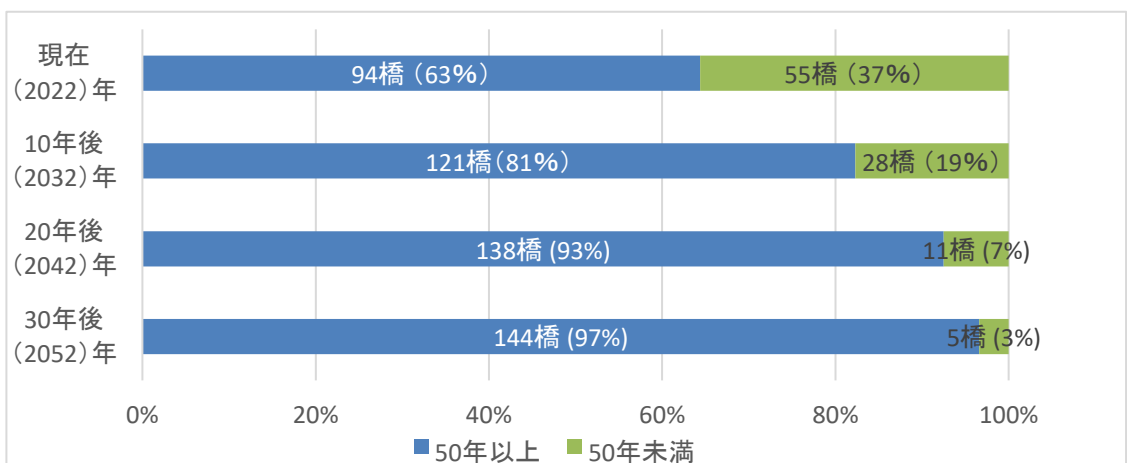
1.2 現状と課題

古賀市が管理する道路橋（道路附属物等を含む）は149橋あります。その内、建設後50年を越える橋梁数の割合は、現在の約63%(94橋)が、10年後には約81%(121橋)、20年後には約93%(138橋)となり、老朽化が急速に進み維持管理費の増加が予測されます。

管理橋梁には、早期補修が必要となる橋梁や鉄道を跨ぐ重要度が高い橋梁もあることから、定期点検により状態を把握するとともに確実な対策を実施していく必要があります。



[建設年の分布]



[建設後50年以上経過する橋梁の推移]

2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

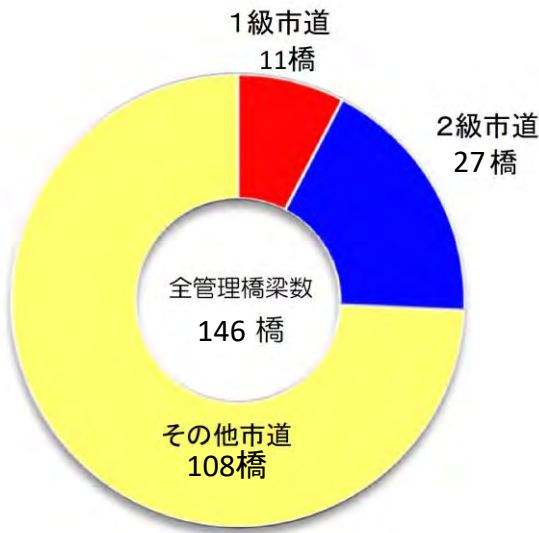
2.1 対象橋梁

2.1.1 対象橋梁（道路附属物等を除く）

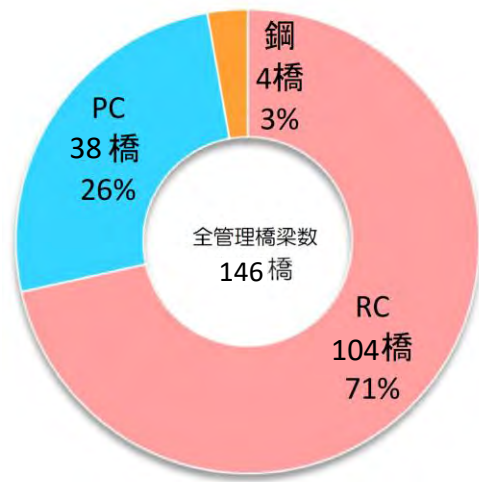
古賀市が管理する全道路橋数（橋長2m以上）の146橋を対象とします。

○ 対象橋梁の割合

対象橋梁の路線種別の割合は、1級市道が11橋、2級市道が27橋、その他の市道が108橋となっています。また、材料種別の割合は、RC橋が最も多く104橋、PC橋が38橋、鋼橋が4橋となっています。



[路線種別の割合]



[材料種別の割合]

※1：RCとは、鉄筋コンクリートのことで、鉄筋とコンクリートが一体となったものです。
 ※2：PCとは、プレストレストコンクリートのことで、鉄筋がコンクリートと一体となっただけではなくあらかじめ鉄筋に圧縮応力を加えたものです。

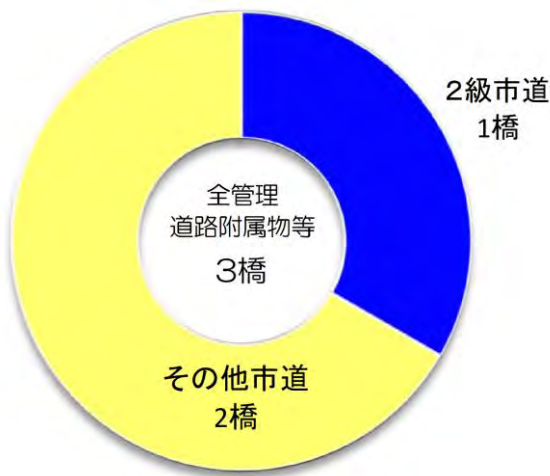
2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.1.2 対象橋梁（道路附属物等）

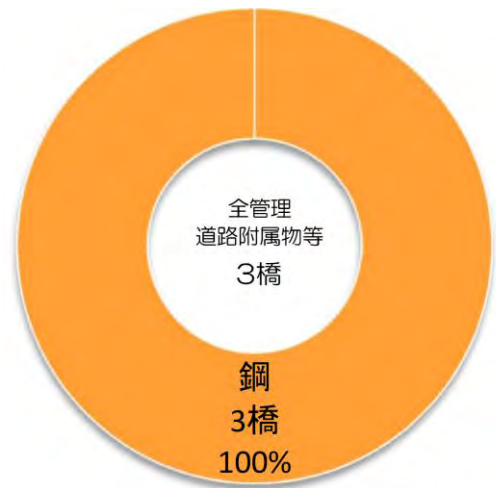
古賀市が管理する全道路附属物等数の3橋を対象とします。

○対象道路附属物等の割合

対象橋梁の路線種別の割合は、2級市道が1橋、その他の市道が2橋となっています。また、材料種別の割合は、鋼橋が3橋となっています。



[路線種別の割合]



[材料種別の割合]

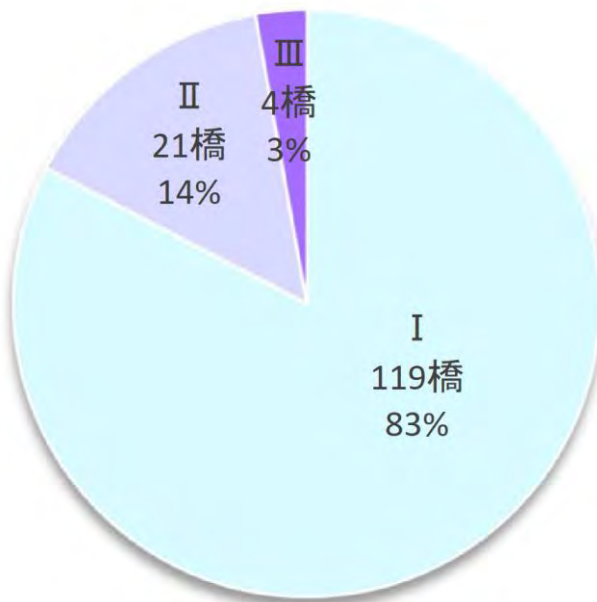
※1：RCとは、鉄筋コンクリートのことで、鉄筋とコンクリートが一体となったものです。
 ※2：PCとは、プレストレストコンクリートのことで、鉄筋がコンクリートと一体となっただけでなく、あらかじめ鉄筋に圧縮応力を加えたものです。

2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.2 対象橋梁の健全性

2.2.1 対象橋梁の健全性（道路附属物等を除く）

定期点検により、道路橋毎の健全性の診断を行った結果、Ⅰ（健全）の橋梁が119橋(82%)、Ⅱ（予防保全段階）の橋梁が21橋(14%)、Ⅲ（早期措置段階）の橋梁が4橋(3%)でありました。



[健全性の診断の割合]

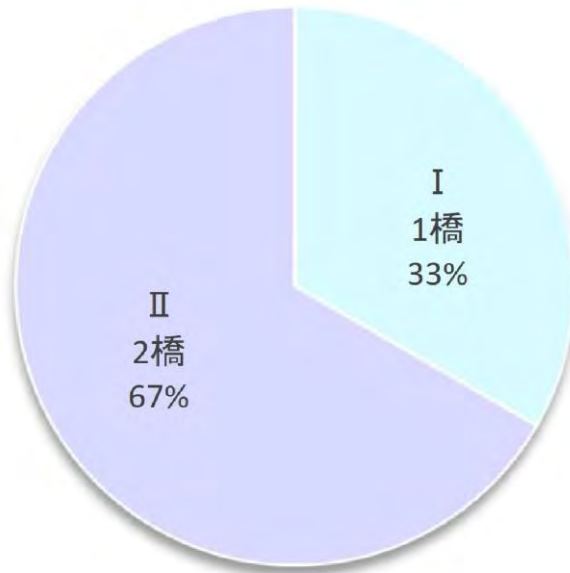
区分		定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から優先度の高いものから順に措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

[判定区分表]

2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

2.2.2 対象橋梁の健全性（道路附属物等）

定期点検により、道路橋毎の健全性の診断を行った結果、Ⅰ（健全）の橋梁が1橋(33%)、Ⅱ（予防保全段階）の橋梁が2橋(67%)でありました。



[健全性の診断の割合]

区分		定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から優先度の高いものから順に措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

[判定区分表]

3 橋梁長寿命化修繕計画

措置の優先順位や事業費を基に、10年間の橋梁長寿命化年次計画表を策定します。

3.1 措置優先順位の設定

措置の優先順位については、健全性、社会的影響度、総合的個別条件を考慮して設定します。

3.2 対象橋梁毎の点検時期および措置内容・時期の設定

点検時期および措置内容・時期については、橋梁長寿命化年次計画表に示すとおりであります。今後の点検・診断結果や予算措置状況等を踏まえ計画を見直す場合があります。

3.3 計画による効果

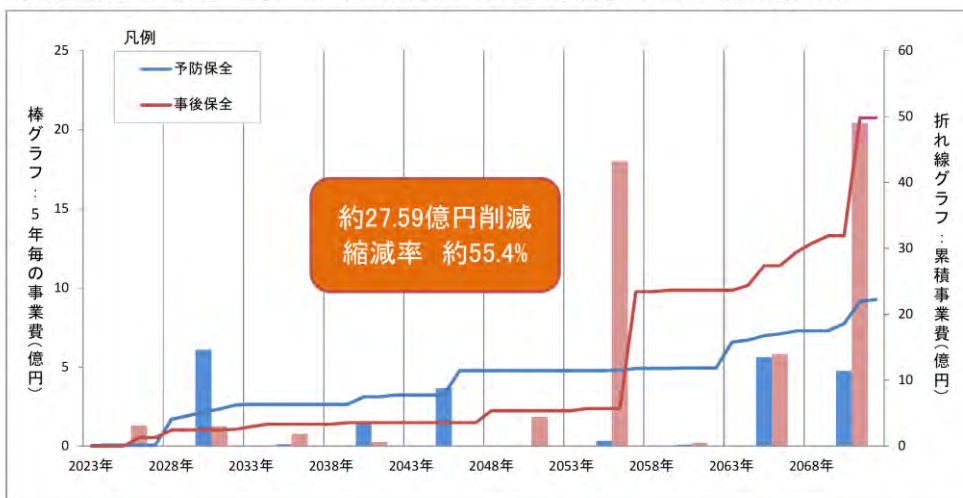
3.3.1 計画による効果（道路附属物等を除く）

対症療法的な維持管理（事後保全型）から、損傷が軽微な段階に予防的な修繕等を実施する維持管理（予防保全型）へシフトすることで、橋梁の安全性・信頼性を確保し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

[試算結果](橋梁)

事後保全の場合 約49.84億円

予防保全の場合 約22.25億円(約27.59億円(約55.4%の縮減効果))



※当グラフは、点検記録等を基にモデル化し試算したものです。

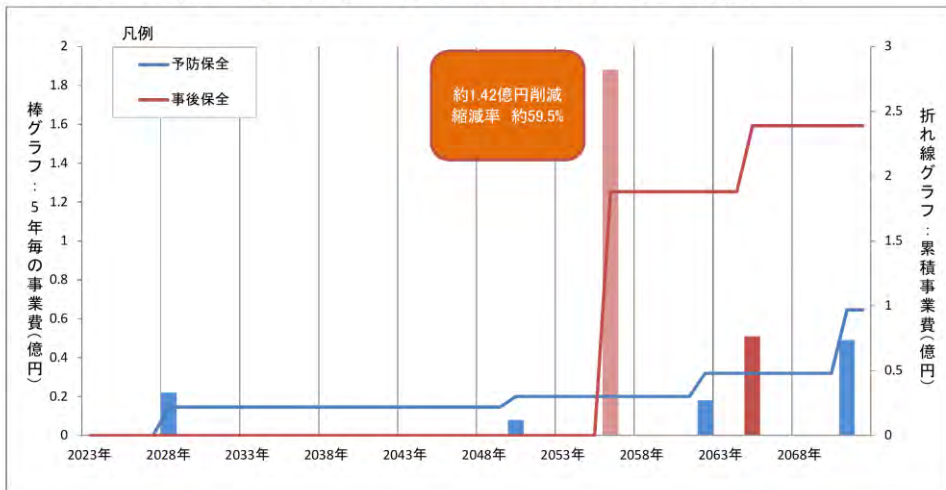
[50年間の維持管理費の試算比較]

3 橋梁長寿命化修繕計画

3.3.2 計画による効果（道路附属物等）

対症療法的な維持管理（事後保全型）から、損傷が軽微な段階に予防的な修繕等を実施する維持管理（予防保全型）へシフトすることで、橋梁の安全性・信頼性を確保し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

[試算結果](道路附属物等)
 事後保全の場合 約2.39億円
 予防保全の場合 約0.97億円(約1.42億円(約59.5%の縮減効果))



※当グラフは、点検記録等を基にモデル化し試算したものです。

[50年間の維持管理費の試算比較]

4 維持管理の基本方針

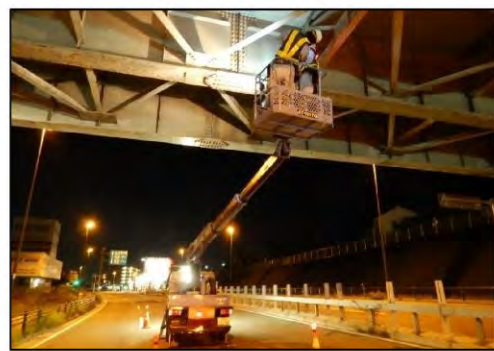
道路利用者や第三者に対する安全性・信頼性を確保するため、定期的な点検を実施することで、橋梁の健全性を把握するとともに損傷の早期発見に努めます。

4.1 定期点検

平成26年7月施行の道路法施行規則第4条5の5に基づき、必要な知識及び技能を有する者が近接目視により、5年に1回以内の頻度で定期点検を行います。



[脚立による定期点検状況]



[高所作業車による定期点検状況]

定期点検の結果に基づき、健全性の診断を4段階に分類し、橋梁の状態を把握します。

別紙2 様式1様式2 橋梁名・所在地・管理者名等				様式1			
橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 43' 48.75"	橋梁ID	
上高野橋 (フリガナ)カミコモノハシ	薦野6号線	福岡県古賀市薦野133		経度	130° 32' 17.76"	33.73021,130.53827	
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
古賀市	2020.10.26	河川(大根川)	有	一般道	その他	無し	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)			定期点検者		ダン技術設計株式会社 渡辺		
定期点検時に記録				応急措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	主桁	腐食、防食機能の劣化	写真-1 主桁				
	横桁	腐食、防食機能の劣化	写真-2 横桁				
	床版	剥離・鉄筋露出、うき	写真-3 床版				
下部構造	I						
支承部	III	腐食、剥離、防食機能の劣化、 支保脚の機能障害	写真-4 支保本体、アンカーボルト				
その他	II						
道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)							
定期点検時に記録							
(判定区分) (所見等)							
III							
<small>腐食の診断: 鉄筋露出及びアンカーボルトの腐食及び防食機能の劣化、支保脚の機能障害、アンカーボルトの腐食は、構造物の健全性の観点から速やかに補修が必要な状態である。主桁の腐食及び防食機能の劣化、横桁の腐食及び防食機能の劣化、床版腐食の腐食・剥離、土砂露出、その他の鉄筋の露出による欠損、排気管の腐食及び防食機能の劣化、剥離は、予防保全の観点から補修が望ましい状態である。補修の中心は、剥離及び欠損・欠陥、構造物損傷の回復は、構造物で対応する必要がある。</small>							
全景写真(起点側、終点側を記載すること)							
架設年次	橋長	幅員					
1967年	10.6m	4.7m					
橋梁形式							
H形鋼(非合成) 半重力式橋台							
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。							

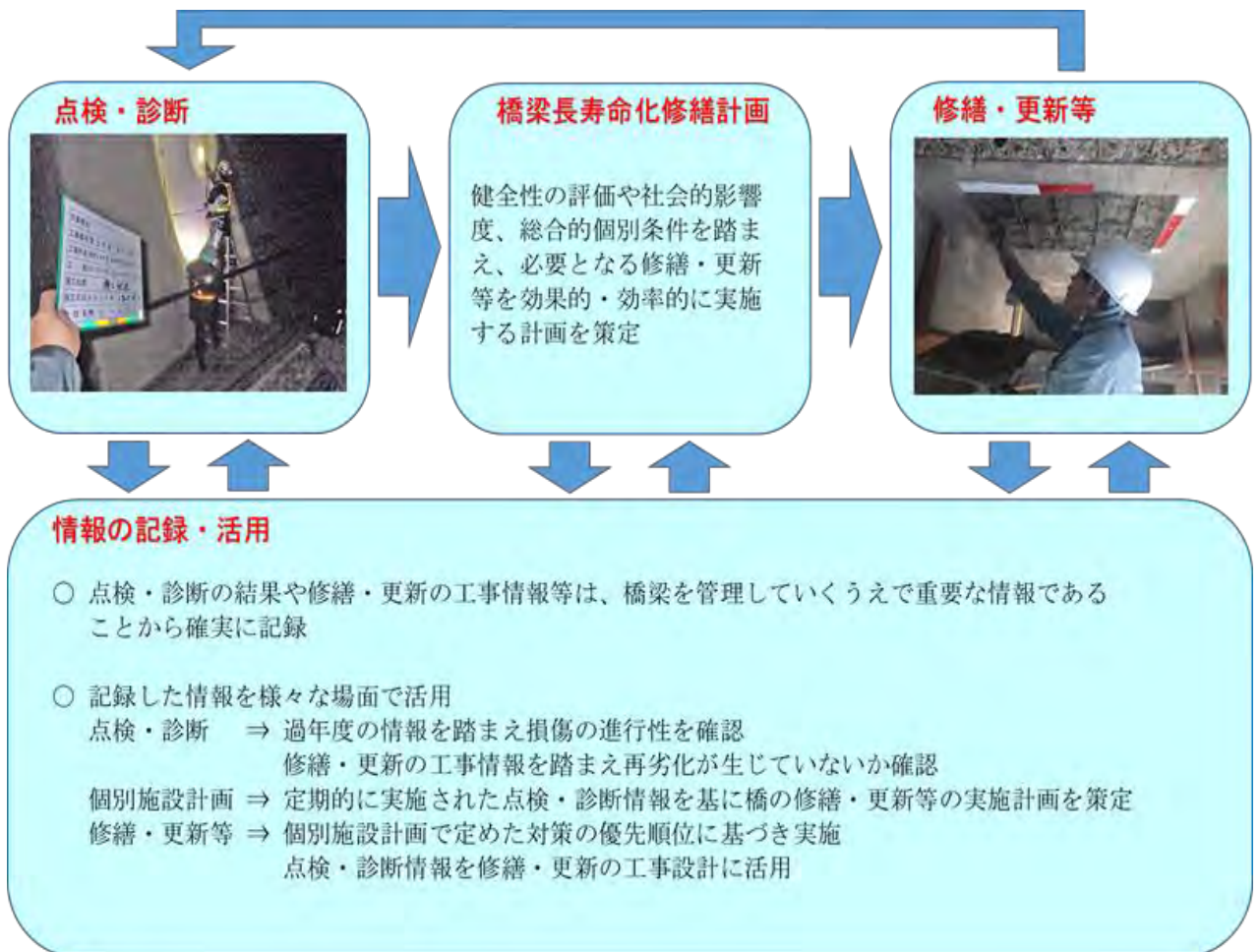
[定期点検・診断の記録事例]

5 長寿命化及び修繕・架替えに係る基本方針

定期的な点検・診断により橋梁の状態を把握し、診断結果や社会的影響度等を踏まえ、対策の年次計画を策定するとともに、計画に基づく予防的な修繕を行う一連の流れのメンテナンスサイクルを構築します。

5.1 情報の保存及び活用

点検・診断や修繕・更新等の情報は、橋梁長寿命化修繕計画の策定や橋梁を維持管理していくうえで重要な情報であることから、各情報を保存するとともに、様々な場面で活用します。



[メンテナンスサイクルのイメージ]

6

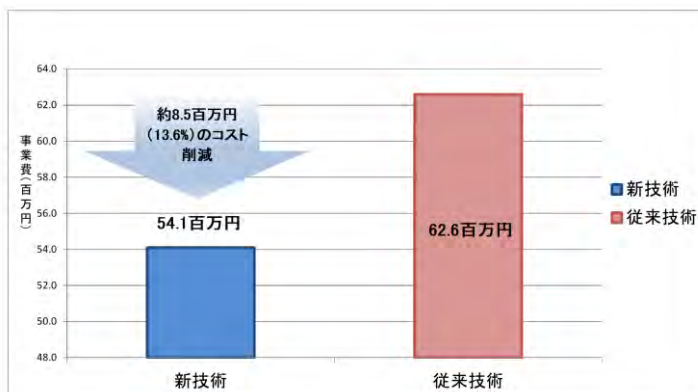
新技術等の活用

厳しい財政状況等を踏まえ、橋梁の維持管理の効率化やコスト縮減を図るには新技術・新工法の活用が必須です。そのため橋梁補修工事や橋梁点検において、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

6.1 橋梁補修工事での活用

6.1.1 橋梁補修工事での活用（道路附属物等を除く）

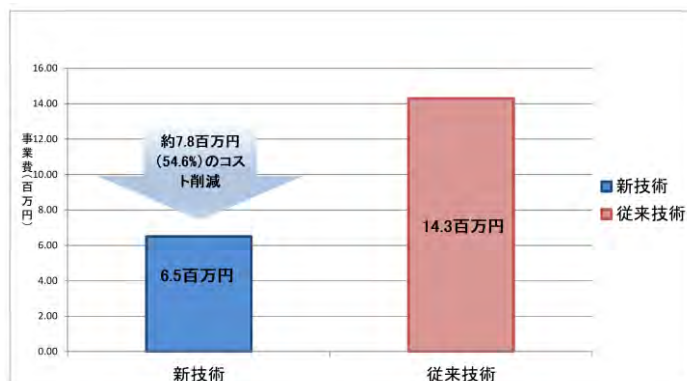
補修工事において全ての橋梁で設計段階での新技術・新工法の活用を検討し、3橋で活用することによって、今後5年間で約9百万円（約14%）のコスト縮減を目指します。



[橋梁補修工事における新技術活用によるコスト縮減効果]

6.1.2 橋梁補修工事での活用（道路附属物等）

補修工事において全ての道路附属物等で設計段階での新技術・新工法の活用を検討し、1橋で活用することによって、今後5年間で約8百万円（約55%）のコスト縮減を目指します。



[橋梁補修工事における新技術活用によるコスト縮減効果]

6 新技術等の活用

6.2 点検での活用（橋梁・道路附属物等）

橋梁点検において、今後5年間で点検手法ごとに従来技術と新技術の比較検討を行い、新技術・新工法の積極的な活用を目指します。

橋梁点検車や高所作業車を用いた点検において、約1割の新技術の活用を目指します。

6.3 集約化・撤去（橋梁・道路附属物等）

路線の重要度や迂回路の有無、利用状況や地元の意見を踏まえ、今後5年間で1橋程度、橋梁・道路附属物等の集約化や撤去について地元との円滑な合意形成を目指します。

このことにより、今後10年間で点検費9万円のコスト縮減を目指します。

7 意見を拝聴した学識経験者及び計画策定担当部署

意見を拝聴した学識経験者

九州大学 工学研究院 社会基盤部門
濱田 秀則 教授

計画策定担当部署

古賀市 建設産業部 建設課 TEL：092-942-5530

○ 計画対象橋梁一覧表

➤ 1級市道:11橋 2級市道:27橋 その他:108橋

整理番号	橋梁名	路線種別	路線名	整理番号	橋梁名	路線種別	路線名
1	前田橋	その他	古賀93号線	31	中川19号橋	その他	千島7号線
2	落合橋	その他	古賀99号線	32	中川15号橋	その他	高田28号線
3	庄橋	1級市道	牟田・栗原線	33	中川16号橋	その他	窪内5号線
4	五妻橋	2級市道	中道線	34	中川17号橋	その他	窪内6号線
5	新五妻橋	2級市道	中道線	35	中川18号橋	その他	高田22号線
6	石原橋	その他	久保1号線	36	中川19号橋	その他	窪内68号線
7	堀田橋	2級市道	東田・堀姥線	37	浦田11号橋	その他	窪内70号線
8	久保橋	2級市道	千島・新原線	38	浦田12号橋	その他	窪内71号線
9	蔵園橋	1級市道	高田・窪内線	39	花宮橋	1級市道	牟田・栗原線
10	八人橋	2級市道	八人線	40	牟田橋	その他	流10号線
11	妻田橋	2級市道	妻田線	41	鎌田1号橋	その他	流12号線
12	高柳橋	2級市道	今在家・新原線	42	鎌田2号橋	その他	高田4号線
13	迎田橋	1級市道	浜・大塚線	43	鎌田3号橋	その他	高田17号線
14	馬渡橋	1級市道	京田・馬渡線	44	落合2号橋	その他	庄14号線
15	樋門田橋	2級市道	川原藤線	45	牟田2号橋	1級市道	庄・通字道線
16	久保崎道橋	その他	久保24号線	46	横尾橋	その他	庄28号線
17	深原道橋	その他	新原23号線	47	沼尻1号橋	その他	庄38号線
18	小浦道橋	その他	町川原33号線	48	沼尻2号橋	その他	新原37号線
19	栗原橋	2級市道	栗王寺・鶴野線	49	沼尻3号橋	その他	久保1号線
20	新田中橋	2級市道	栗王寺・鶴野線	50	四反田橋	その他	今在家3号線
21	鶴田橋	2級市道	谷山・小竹線	51	竹ノ下橋	その他	今在家9号線
22	花津留川橋梁	その他	鹿部81号線	52	下戸藤橋	その他	今在家3号線
23	鹿部藤橋	1級市道	浜・大塚線	53	百田橋	その他	町川原48号線
24	中間3号橋	1級市道	京田・馬渡線	54	中間1号橋	その他	青柳13号線
25	中川・東田線1号橋	1級市道	中川・五妻線	55	中間2号橋	2級市道	神田線
26	千島橋1号橋	その他	花見3号線	56	村中5号橋	その他	青柳15号線
27	千島橋2号橋	その他	花見33号線	57	村中6号橋	その他	青柳30号線
28	千島橋3号橋	その他	花見23号線	58	村中7号橋	その他	青柳32号線
29	西大橋	2級市道	翁・沙入線	59	ハンダ1号橋	その他	小竹9号線
30	中川2号橋	その他	花見60号線	60	前田3号橋	その他	小竹8号線

○ 計画対象橋梁一覧表

➤ 1級市道:11橋 2級市道:27橋 その他:108橋

整理番号	橋梁名	路線種別	路線名	整理番号	橋梁名	路線種別	路線名
61	井筒11号橋	その他	青柳41号線	91	本谷1号橋	その他	米多比37号線
62	井筒12号橋	その他	青柳39号線	92	本谷2号橋	その他	米多比38号線
63	井筒113号橋	その他	小竹17号線	93	近道橋	その他	米多比25号線
64	天神橋	その他	町川原6号線	94	鳥越橋	その他	米多比45号線
65	堀園橋	2級市道	野口・鶴園線	95	小浦橋	その他	米多比44号線
66	下瀬戸橋	その他	小山田23号線	96	下西ノ前橋	その他	米多比43号線
67	上瀬戸橋	その他	小山田21号線	97	上西ノ前橋	その他	米多比40号線
68	深町橋	2級市道	水上・小山田線	98	水呑橋	その他	米多比40号線
69	前田2号橋	その他	栗王寺29号線	99	山ノ口橋	2級市道	興山園線
70	栗王寺橋	2級市道	栗王寺・谷山線	100	長集山橋	2級市道	興山園線
71	村中1号橋	その他	栗王寺21号線	101	宇治川1号橋	その他	鶴野62号線
72	村中2号橋	その他	栗王寺20号線	102	宇治川2号橋	その他	鶴野61号線
73	村中4号橋	その他	栗王寺18号線	103	宇治川3号橋	その他	米多比29号線
74	根神橋	その他	栗王寺11号線	104	宇治川4号橋	その他	鶴野52号線
75	御宇橋	その他	栗王寺10号線	105	宇治川5号橋	その他	鶴野51号線
76	御宮橋	その他	栗王寺9号線	106	宇治川6号橋	その他	鶴野51号線
77	河内橋	2級市道	鬼王線	107	貝地橋	その他	鶴野50号線
78	鬼王橋	2級市道	鬼王線	108	古野橋	その他	鶴野51号線
79	井堀橋	その他	小山田14号線	109	中村橋	その他	鶴野34号線
80	相原橋	その他	谷山15号線	110	吉住橋	その他	鶴野45号線
81	谷山橋	2級市道	栗王寺・谷山線	111	石原2号橋	その他	鶴野17号線
82	松葉橋	その他	谷山1号線	112	田中橋	その他	鶴野18号線
83	栗師越橋	その他	谷山4号線	113	清瀬橋	その他	鶴野5号線
84	谷山ノ橋	その他	谷山10号線	114	赤松橋	その他	鶴野6号線
85	下地裏橋	その他	谷山10号線	115	車屋橋	その他	鶴野8号線
86	菱店橋	その他	谷山11号線	116	山ノ口2号橋	その他	鶴野8号線
87	樋田橋	その他	町川原13号線	117	上瀬野橋	その他	鶴野8号線
88	外輪崎橋	その他	米多比14号線	118	小谷橋	その他	鶴野8号線
89	マナゴ橋	2級市道	米多比・中道線	119	井筒川10号橋	その他	小竹23号線
90	谷橋	2級市道	米多比・中道線	120	井筒川4号橋	その他	小竹7号線

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	フリガナ	橋梁名	4	5	6
	ゴラクバ	五葉橋	ゴラクバ	シンゴラクバ	インハラバ
	橋梁番号	2549-1	2549-2	2549-2	2550
	路線種別	2級市道	2級市道	2級市道	その他
	路線名称	中道線	中道線	中道線	久保1号線
	路線番号	65	65	65	65
	所在地	福岡県古賀市中央2丁目	福岡県古賀市中央2丁目	福岡県古賀市中央2丁目	福岡県古賀市新久保1丁目
	橋長	33.35m	33.28m	31.50m	31.50m
	幅員	4.10m	5.30m	4.20m	4.20m
	架設年(西暦)	1962年	1982年	1989年	1989年
	径間数	4	2	3	3
	材料区分	RC	PC	RC	RC
	上部工形式	単純、T桁橋	単純、プレテン床版橋	不明、T桁橋	不明、T桁橋
	下部工形式	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚
	基礎形式	不明	不明	不明	不明
	防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:0.92m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.71m
	添架物	無	不明	不明	不明
	伸縮装置の種類	鋼製	不明	その他	その他
	支承の種類	その他	ゴム	その他	その他
	交差条件	河川	河川	河川	河川
	設計活荷重	不明	不明	不明	不明
	架設された環境条件	通常	通常	通常	通常
	第三者被害	無	無	無	無
	緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
	迂回路	有	有	有	有
	通学路	指定なし	指定なし	指定あり	指定あり
	バス路線	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
	自動車交通量	小	小	小	小
	通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無	無
	橋面防水層設置年	不明	不明	不明	不明
	耐震補強歴	不明	不明	不明	不明
	塗装歴	無	無	無	無
	補修歴	無	2021年	無	無
	橋の健全性の診断	II	I	I	I

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	フリガナ	橋梁名	7	8	9
	ホツタバ	堀田橋	ホツタバ	クボバ	クラノハバ
	橋梁番号	2551	2551	2552	2553
	路線種別	2級市道	2級市道	2級市道	1級市道
	路線名称	東田・塩焼線	東田・塩焼線	千島・新原線	高田・窪内線
	路線番号	68	67	67	12
	所在地	福岡県古賀市新久保1丁目	福岡県古賀市新久保1丁目	福岡県古賀市新久保1丁目	福岡県古賀市窪内
	橋長	30.20m	27.49m	27.49m	24.70m
	幅員	5.60m	6.45m	6.45m	6.20m
	架設年(西暦)	1959年	1959年	1959年	1969年
	径間数	3	2	2	2
	材料区分	RC	RC	RC	PC
	上部工形式	不明、T桁橋	不明、T桁橋	単純、T桁橋	不明、プレテン床版橋
	下部工形式	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚	逆T式橋台、壁式橋脚	重力式橋台、壁式橋脚
	基礎形式	不明	不明	不明	不明
	防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.09m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:0.71m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:0.71m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.89m
	添架物	不明	不明	有	不明
	伸縮装置の種類	不明	不明	鋼製	不明
	支承の種類	その他	その他	その他	ゴム
	交差条件	河川	河川	河川	河川
	設計活荷重	不明	不明	不明	不明
	架設された環境条件	通常	通常	通常	通常
	第三者被害	無	無	無	無
	緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
	迂回路	有	有	有	有
	通学路	指定なし	指定なし	指定あり	指定あり
	バス路線	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
	自動車交通量	小	小	小	小
	通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無	無
	橋面防水層設置年	不明	不明	無	不明
	耐震補強歴	不明	不明	不明	不明
	塗装歴	無	無	無	無
	補修歴	無	無	無	2021年
	橋の健全性の診断	I	I	I	I

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	10	11	12
フリガナ 橋梁名	オオトバシ 大人橋	ムキタバシ 麦田橋	タカヤナギハシ 高柳橋
橋梁番号	2554	2555	2556
路線種別	2級市道	2級市道	2級市道
路線名称	大人線	麦田線	今在家・新原線
路線番号	84	83	70
所在地	福岡県古賀市鶴野	福岡県古賀市鶴野	福岡県古賀市今在家
橋長	19.12m	16.68m	38.10m
幅員	7.00m	7.20m	3.00m
架設年(西暦)	1974年	1977年	1980年
径間数	1	1	4
材料区分	PC	PC	RC
上部工形式	単軌、プレテン床版橋	単軌、プレテン床版橋	不明、T桁橋
下部工形式	重力式橋台	半重力式橋台	その他(橋台)、バイレメント橋脚
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.08m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.82m
添架物	無	不明	有
伸縮装置の種類	鋼製	不明	不明
支承の種類	その他	その他	その他
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	2014年	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	13	14	15
フリガナ 橋梁名	ムカイダバシ 迎田橋	ヒンドバシ 馬渡橋	ヒモンテンバシ 樋門田橋
橋梁番号	2557	2558	2560
路線種別	1級市道	1級市道	2級市道
路線名称	浜・大塚線	京田・馬渡線	川原庵線
路線番号	9	16	79
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市川原
橋長	24.08m	27.80m	16.13m
幅員	3.40m	17.80m	3.50m
架設年(西暦)	1959年	1988年	1986年
径間数	3	1	2
材料区分	RC	PC	RC
上部工形式	単軌、T桁橋	単軌、ボタマンT桁橋	単軌、T桁橋
下部工形式	重力式橋台、壁式橋脚	重力式橋台	重力式橋台、壁式橋脚
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.35m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.02m
添架物	無	不明	無
伸縮装置の種類	鋼製	ゴムジョイント	鋼製
支承の種類	その他	ゴム	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	中	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	16	17	18
フリガナ	クボコドウキョウ	フカハラコドウキョウ	コウラクドウキョウ
橋梁名	久保跨道橋	深原跨道橋	小浦跨道橋
橋梁番号	2562	2563	2564
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	久保24号線	新原23号線	町川原33号線
路線番号	674	1923	2133
所在地	福岡県古賀市久保2丁目	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市青柳町
橋長	34.50m	39.40m	82.40m
幅員	8.80m	4.80m	6.10m
架設年(西暦)	1969年	1976年	1973年
径間数	1	3	3
材料区分	鋼	PC	PC
上部工形式	単軌、H桁橋	不明、ラーメン橋	不明、ボスメン床版橋
下部工形式	逆T式橋台	盛り工なし橋台、壁式橋脚	逆T式橋台、その他(橋脚)
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードバイン 高さ:0.95m	材料:コンクリート 形状:コンクリート壁式 高さ:0.95m
添架物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	鋼製	その他	鋼製
支承の種類	鋼製	不明	鋼製
交差条件	道路	道路	道路
設計活荷重	TL-14	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	有	有	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	2002年	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	II	II

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	19	20	21
フリガナ	クハラバシ	シムタナカバシ	スルメダバシ
橋梁名	栗原橋	新田中橋	藤田橋
橋梁番号	2565	2566	2567
路線種別	2級市道	2級市道	2級市道
路線名称	薬王寺・藤野線	薬王寺・藤野線	谷山・小竹線
路線番号	92	92	93
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市青柳
橋長	10.95m	15.70m	27.09m
幅員	8.80m	8.70m	8.70m
架設年(西暦)	1980年	1979年	1978年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	PC	PC
上部工形式	単軌、BOXカルバート	単軌、プレテンT桁橋	単軌、ボスメンT桁橋
下部工形式	BOXカルバート	逆T式橋台	半軌方式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:0.98m
添架物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	無	鋼製	ゴムジョイント
支承の種類	無	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	22	23	24
フリガナ	カゾルガキョウリョウ	シンプコセンキョウ	チュウケンキョウサンゴウバシ
橋名	花津留川橋梁	鹿部跨線橋	中間谷3号橋
橋梁番号	2570	2571	2572
路線種別	その他	1級市道	1級市道
路線名称	鹿部81号線	浜→馬渡線	京田→馬渡線
路線番号	1081	9	16
所在地	福岡県古賀市白吉2丁目	福岡県古賀市白吉	福岡県古賀市青柳
橋長	77.40m	262.75m	5.10m
幅員	5.12m	8.00m	24.25m
架設年(西暦)	2015年	2021年	1990年
径間数	3	10	1
材料区分	PC	PC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	連続、プレテン/桁橋	単軌、BOXカルバート
下部工形式	逆T式橋台、張出し式橋脚(小判)	逆T式橋台、壁式橋脚	BOXカルバート
基礎形式	直接基礎	場所打ち(深礎を含む)	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:鋼製防護欄 高さ:1.00m	材料:コンクリート 形状:その他 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.30m
添架物	無	有	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	鋼製	無
支承の種類	ゴム	鋼製	無
交差条件	河川	鉄道	河川
設計活荷重		T-25	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	通常
第三者被害	無	有	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	大	大	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	有	有	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装歴	不明	不明	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:指定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	25	26	27
フリガナ	ナカガワウデンセンレキョウ	チドリミノチゴウキョウ	チドリミノチゴウキョウ
橋名	中川・東田線JR橋	千鳥溝1号橋	千鳥溝2号橋
橋梁番号	2573	3003	3004
路線種別	1級市道	その他	その他
路線名称	中川・五葉線	花見34号線	花見33号線
路線番号	7	134	133
所在地	福岡県古賀市東東4丁目	福岡県古賀市花見東3丁目	福岡県古賀市花見東3丁目
橋長	14.80m	2.45m	2.49m
幅員	15.00m	3.74m	3.60m
架設年(西暦)	1996年	1916年	1950年
径間数	3	1	1
材料区分	RC	PC	RC
上部工形式	不明、BOXカルバート	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	BOXカルバート、BOXカルバート	その他(橋台)	その他(橋台)
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.72m
添架物	不明	無	有
伸縮装置の種類	無	無	不明
支承の種類	無	エラストイ	不明
交差条件	道路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	塩害地区
第三者被害	有	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	大	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	不明	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※架設年:指定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	28	29	30
フリガナ	チドリミサンゴウキョウ	ニシオハシ	ナカガワゴウキョウ
橋梁名	千鳥瀬3号橋	西大橋	中川2号橋
橋梁番号	3005	3006	3007
路線種別	その他	2級市道	その他
路線名称	花見23号線	翁一沙入線	花見80号線
路線番号	123	52	160
所在地	福岡県古賀市花見東2丁目	福岡県古賀市花見南3丁目	福岡県古賀市花見南2丁目
橋長	2.20m	12.00m	11.50m
幅員	4.80m	9.85m	2.70m
架設年(西暦)	1970年	1985年	1985年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	PC	鋼
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、フレテン床版橋	単軌、H桁橋
下部工形式	重力式橋台	逆T式橋台	逆T式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.20m
添架物	有	有	無
伸縮装置の種類	無	鋼製	無
支承の種類	エラストイ	ゴム	鋼製
交差条件	水路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	塩害地区	塩害地区
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定あり	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装歴	無	無	不明
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	31	32	33
フリガナ	ナカガワサンゴウキョウ	ナカガワゴウキョウ	ナカガワゴウキョウ
橋梁名	中川18号橋	中川15号橋	中川16号橋
橋梁番号	3008	3009	3010
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	千鳥7号線	高田26号線	釜内5号線
路線番号	307	776	1255
所在地	福岡県古賀市千鳥1丁目	福岡県古賀市釜内	福岡県古賀市釜内
橋長	12.20m	4.50m	3.70m
幅員	6.20m	8.40m	6.30m
架設年(西暦)	1984年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	RC	RC
上部工形式	単軌、フレテン床版橋	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添架物	有	有	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	無	不明
支承の種類	ゴム	不明	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	塩害地区	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	34	35	36
フリガナ	ナカガワナナゴウキョウ	ナカガワハチゴウキョウ	ナカガワキョウキョウ
橋梁名	中川7号橋	中川8号橋	中川9号橋
橋梁番号	3011	3012	3013
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	筵内6号線	高田22号線	筵内8号線
路線番号	1256	772	1318
所在地	福岡県古賀市筵内	福岡県古賀市筵内	福岡県古賀市筵内
橋長	4.75m	8.25m	4.57m
幅員	9.00m	8.27m	4.45m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	PC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、床版橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	半重方式橋台	半重方式橋台	半重方式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添架物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	不明	その他	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	不明
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	III

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	37	38	39
フリガナ	ウラタガワイチゴウキョウ	ウラタガワニゴウキョウ	ハノミヤパン
橋梁名	浦田川1号橋	浦田川2号橋	花宮橋
橋梁番号	3014	3015	3016
路線種別	その他	その他	1級市道
路線名称	筵内70号線	筵内71号線	牟田・栗原線
路線番号	1320	1321	5
所在地	福岡県古賀市筵内	福岡県古賀市筵内	福岡県古賀市千高1丁目
橋長	2.90m	3.00m	7.00m
幅員	4.10m	3.05m	16.00m
架設年(西暦)	1990年	1990年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	PC
上部工形式	単軌、BOXカルバート	単軌、床版橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	BOXカルバート	半重方式橋台	半重方式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m
添架物	無	不明	不明
伸縮装置の種類	無	不明	ゴムジョイント
支承の種類	無	不明	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	中
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	40	41	42
フリガナ	ムタバシ 牟田橋	カマタイチゴウキョウ 鎌田1号橋	カマタニゴウキョウ 鎌田2号橋
橋梁番号	3017	3018	3019
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	流10号線	流12号線	高田4号線
路線番号	460	462	754
所在地	福岡県古賀市中央5丁目	福岡県古賀市新久保2丁目	福岡県古賀市久保
橋長	5.90m	3.30m	3.75m
幅員	3.70m	4.50m	9.85m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.72m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.12m
添架物	不明	無	有
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	不明	不明	エラストイ
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	43	44	45
フリガナ	カマタサゴウキョウ 鎌田3号橋	オアアイニゴウキョウ 落合2号橋	ムタニゴウキョウ 牟田2号橋
橋梁番号	3020	3021	3023
路線種別	その他	その他	1級市道
路線名称	高田1号線	庄14号線	庄1通学道線
路線番号	767	1164	10
所在地	福岡県古賀市久保	福岡県古賀市今の庄2丁目	福岡県古賀市今の庄3丁目
橋長	2.82m	2.80m	4.20m
幅員	3.99m	4.75m	6.85m
架設年(西暦)	1950年	1980年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、プレテン床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	その他(橋台)	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.12m
添架物	有	無	有
伸縮装置の種類	無	エラストイ	無
支承の種類	ゴム	エラストイ	ゴム
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	不明
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	46	47	48
フリガナ	ヨコマラハシ	スマジリイチゴウキョウ	スマジリニゴウキョウ
橋梁名	楳枝橋	沼尻1号橋	沼尻2号橋
橋梁番号	3024	3026	3027
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	庄28号線	庄36号線	新原37号線
路線番号	1178	1186	1937
所在地	福岡県古賀市今の庄2丁目	福岡県古賀市今の庄3丁目	福岡県古賀市庄
橋長	3.48m	4.71m	4.80m
幅員	6.20m	6.70m	8.10m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ローレル 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:その他 高さ:0.83m	材料:鋼 形状:その他 高さ:0.77m
添架物	不明	不明	不明
伸縮装置の種類	不明	不明	不明
支承の種類	ゴム	不明	ゴム
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※架設年:指定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	49	50	51
フリガナ	スマジリヤナゴウキョウ	シタダハシ	タケガシハシ
橋梁名	沼尻3号橋	四反田橋	竹ノ下橋
橋梁番号	3028	3031	3032
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	久保1号線	今在家9号線	今在家9号線
路線番号	651	2009	2009
所在地	福岡県古賀市庄	福岡県古賀市今在家	福岡県古賀市今在家
橋長	2.35m	2.20m	2.05m
幅員	3.35m	3.65m	6.05m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	不明
支承の種類	不明	エラストイ	不明
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	52	53	54
フリガナ	シモトジハシ	モモダハシ	チュウゲンキョウイゴウハシ
橋梁名	下戸藤橋	百田橋	中間給1号橋
橋梁番号	3033	3037	3039
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	今在家9号線	町川原13号線	青柳13号線
路線番号	2009	2143	2213
所在地	福岡県古賀市今在家	福岡県古賀市青柳町	福岡県古賀市青柳
橋長	2.70m	2.25m	4.50m
幅員	3.60m	5.30m	4.75m
架設年(西暦)	1960年	1981年	1950年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添架物	有	不明	有
伸縮装置の種類	無	不明	無
支承の種類	不明	ゴム	不明
交差条件	水路	水路	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	不明	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	55	56	57
フリガナ	チュウゲンキョウニゴウハシ	ムラナカゴウハシ	ムラナカゴウハシ
橋梁名	中間給2号橋	村中5号橋	村中6号橋
橋梁番号	3040	3041	3042
路線種別	2級市道	その他	その他
路線名称	神田線	青柳15号線	青柳50号線
路線番号	72	2215	2230
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳
橋長	5.30m	4.05m	2.71m
幅員	4.35m	6.00m	8.68m
架設年(西暦)	1950年	1980年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、BOXカルバート	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	BOXカルバート	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.28m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.101m	無
添架物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	エラスター
支承の種類	ゴム	無	エラスター
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	58	59	60
フリガナ	ムラナカナゴウバス	ハンダイチゴウキョウ	マエダサゴウキョウ
橋梁名	村中号橋	ハンダ号橋	前田3号橋
橋梁番号	3043	3044	3045
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	青柳2号線	小竹9号線	小竹8号線
路線番号	2222	2309	2308
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋長	2.90m	2.65m	2.60m
幅員	3.83m	8.00m	5.00m
架設年(西暦)	1960年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	重力式橋台	半重力式橋台	重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m
添架物	無	有	有
伸縮装置の種類	エラストイト	エラストイト	無
支承の種類	エラストイト	エラストイト	不明
交差条件	水路	水路	水路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	61	62	63
フリガナ	イツツガワイチゴウキョウ	イツツガワニコウキョウ	イツツガワサゴウキョウ
橋梁名	井筒川1号橋	井筒川2号橋	井筒川3号橋
橋梁番号	3046	3047	3048
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	青柳11号線	青柳9号線	小竹17号線
路線番号	2241	2239	2317
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹
橋長	7.10m	6.20m	5.80m
幅員	4.10m	4.70m	3.60m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添架物	無	不明	有
伸縮装置の種類	無	不明	無
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	フリガナ	橋梁名	64	テンジンパン	天神橋	65	ヒゲノパン	髭間橋	66	シモセパン	下瀬戸橋
橋梁番号	3049	その他	3050	2級市道	その他	3051	その他	その他	3052	2級市道	その他
路線種別	町川原6号線	野口-髭間線	小山田23号線	小山田23号線	小山田23号線	小山田23号線	小山田23号線	小山田23号線	小山田21号線	水上-小山田線	薬王寺29号線
路線名称	2106	78	13.16m	6.80m	1970年	1	2	RC	1721	89	1629
路線番号	福岡県古賀市川原	福岡県古賀市川原	福岡県古賀市山原	福岡県古賀市山原	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
所在地	橋長	3.00m	13.63m	10.54m	3.95m	1960年	2	RC	9.05m	5.20m	11.00m
橋長	幅員	1960年	1	2	RC	RC	RC	RC	1960年	2	2
幅員	架設年(西暦)	2	1	2	RC	RC	RC	RC	1960年	2	2
架設年(西暦)	径間数	材料区分	上部工形式	下部工形式	基礎形式	添架物	伸縮装置の種類	支承の種類	交差条件	設計活荷重	架設された環境条件
径間数	材料区分	単鋼、プレテン床版橋	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	不明、床版橋	無	ユラスタイプ	ゴム	不明	通常	無
材料区分	上部工形式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	不明、床版橋	無	不明	ゴム	不明	通常	無
上部工形式	下部工形式	不明	不明	不明	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
下部工形式	基礎形式	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	無	不明	ゴム	不明	通常	無
基礎形式	添架物	無	不明	不明	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
添架物	伸縮装置の種類	ユラスタイプ	不明	不明	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
伸縮装置の種類	支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム	ゴム	無	不明	ゴム	不明	通常	無
支承の種類	交差条件	河川	河川	河川	河川	無	不明	河川	不明	通常	無
交差条件	設計活荷重	不明	不明	不明	不明	無	不明	不明	不明	通常	無
設計活荷重	架設された環境条件	通常	通常	通常	通常	無	通常	不明	不明	通常	無
架設された環境条件	第三者被害	無	無	無	無	無	無	不明	不明	通常	無
第三者被害	緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
緊急輸送道路	迂回路	有	有	有	有	無	有	有	有	有	無
迂回路	通学路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
通学路	バス路線	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
バス路線	自動車交通量	小	小	小	小	無	小	小	小	小	無
自動車交通量	通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
通行制限(荷重、高さ、幅)	橋面防水層設置年	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
橋面防水層設置年	耐震補強歴	不明	不明	不明	不明	無	不明	不明	不明	不明	不明
耐震補強歴	塗装歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
塗装歴	補修歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修歴	橋の健全性の診断	II	I	I	I	無	無	無	I	I	I
橋の健全性の診断											

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	フリガナ	橋梁名	67	カミセトパン	上瀬戸橋	68	フカマナパン	深町橋	69	マエダニコウキョウ	前田2号橋
橋梁番号	3052	その他	3053	2級市道	その他	3054	その他	その他	3055	2級市道	その他
路線種別	小山田21号線	水上-小山田線	小山田21号線	水上-小山田線	小山田21号線	小山田21号線	水上-小山田線	水上-小山田線	小山田21号線	水上-小山田線	薬王寺29号線
路線名称	1721	89	1721	89	1721	89	1721	89	1721	89	1629
路線番号	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市薬王寺
所在地	橋長	11.10m	4.70m	1950年	2	2	RC	RC	11.00m	4.00m	1960年
橋長	幅員	1950年	2	2	RC	RC	RC	RC	1960年	2	2
幅員	架設年(西暦)	2	2	RC	RC	RC	RC	RC	1960年	2	2
架設年(西暦)	径間数	材料区分	上部工形式	下部工形式	基礎形式	添架物	伸縮装置の種類	支承の種類	交差条件	設計活荷重	架設された環境条件
径間数	材料区分	不明、床版橋	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
材料区分	上部工形式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台、壁式橋脚	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
上部工形式	下部工形式	不明	不明	不明	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
下部工形式	基礎形式	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	無	不明	ゴム	不明	通常	無
基礎形式	添架物	無	不明	不明	無	無	不明	ゴム	不明	通常	無
添架物	伸縮装置の種類	不明	不明	不明	不明	無	不明	ゴム	不明	通常	無
伸縮装置の種類	支承の種類	河川	河川	河川	河川	無	不明	河川	不明	通常	無
支承の種類	交差条件	不明	不明	不明	不明	無	不明	不明	不明	通常	無
交差条件	設計活荷重	通常	通常	通常	通常	無	通常	不明	不明	通常	無
設計活荷重	架設された環境条件	無	無	無	無	無	無	不明	不明	通常	無
架設された環境条件	第三者被害	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
第三者被害	緊急輸送道路	有	有	有	有	無	有	有	有	有	無
緊急輸送道路	迂回路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
迂回路	通学路	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
通学路	バス路線	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	無
バス路線	自動車交通量	小	小	小	小	無	小	小	小	小	無
自動車交通量	通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
通行制限(荷重、高さ、幅)	橋面防水層設置年	不明	不明	不明	不明	無	不明	不明	不明	不明	不明
橋面防水層設置年	耐震補強歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
耐震補強歴	塗装歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
塗装歴	補修歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修歴	橋の健全性の診断	I	I	I	I	無	無	無	I	I	I
橋の健全性の診断											

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	70	71	72
フリガナ	ヤクオウジバン	ムラナカエゴウキョウ	ムラナカエゴウキョウ
橋梁名	薬王寺橋	村中1号橋	村中2号橋
橋梁番号	3055	3056	3057
路線種別	2級市道	その他	その他
路線名称	薬王寺、谷山線	薬王寺21号線	薬王寺20号線
路線番号	87	1621	1620
所在地	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
橋長	9.20m	6.70m	6.70m
幅員	7.72m	4.60m	5.00m
架設年(西暦)	1980年	1988年	1992年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	PC	PC
上部工形式	単軌、プレテン床版橋	単軌、プレテン床版橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	半重力式橋台	重力式橋台	重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.25m
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	エラスタイト	エラスタイト	エラスタイト
支承の種類	エラスタイト	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定あり	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	73	74	75
フリガナ	ムラナカエゴウキョウ	ネガミバン	オテラバン
橋梁名	村中4号橋	根神橋	御寺橋
橋梁番号	3058	3059	3060
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	薬王寺18号線	薬王寺11号線	薬王寺10号線
路線番号	1618	1611	1610
所在地	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市薬王寺
橋長	6.70m	8.12m	6.50m
幅員	4.60m	4.59m	4.80m
架設年(西暦)	1990年	1980年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	RC	RC
上部工形式	単軌、プレテン床版橋	単軌、T桁橋	単軌、床版橋
下部工形式	重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.97m
添架物	無	不明	無
伸縮装置の種類	エラスタイト	不明	無
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	76	77	78
フリガナ	オミヤバス	コウチバス	オウオウバス
橋梁名	御宮橋	河内橋	鬼王橋
橋梁番号	3061	3062	3063
路線種別	その他	2級市道	2級市道
路線名称	栗王寺9号線	鬼王線	鬼王線
路線番号	1609	88	88
所在地	福岡県古賀市薬工寺	福岡県古賀市薬工寺	福岡県古賀市薬工寺
橋長	7.10m	6.50m	5.20m
幅員	4.30m	10.10m	3.90m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1950年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	無
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	無
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	無
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	79	80	81
フリガナ	イホリバス	アイハラバス	タニヤマバス
橋梁名	井原橋	相原橋	谷山橋
橋梁番号	3067	3068	3069
路線種別	その他	その他	2級市道
路線名称	小山田14号線	谷山5号線	栗王寺・谷山線
路線番号	1714	1805	87
所在地	福岡県古賀市小山田	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋長	3.40m	13.00m	12.54m
幅員	3.60m	5.20m	7.70m
架設年(西暦)	1950年	1980年	1980年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	PC	PC
上部工形式	単純、床版橋	単純、プレテン床版橋	単純、プレテン床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.75m	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.10m
添架物	無	無	不明
伸縮装置の種類	不明	その他	不明
支承の種類	不明	ゴム	ゴム
交差条件	水路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	82	83	84
フリガナ	マツハシ	ヤマサマハシ	タニヤマカミハシ
橋梁名	松葉橋	業師株橋	谷山上ノ橋
橋梁番号	3070	3071	3072
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	谷山10号線	谷山10号線	谷山10号線
路線番号	1801	1804	1810
所在地	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋長	12.32m	8.70m	10.39m
幅員	3.96m	3.90m	6.20m
架設年(西暦)	1960年	1950年	2000年
径間数	2	1	1
材料区分	RC	RC	PC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、T桁橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	半重力式橋台、壁式橋脚	半重力式橋台	逆T式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.80m	材料:鋼 形状:ガードバイブ 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.09m
添架物	有	有	有
伸縮装置の種類	エラストイト	無	ゴムジョイント
支承の種類	エラストイト	ゴム	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	A活荷重
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	85	86	87
フリガナ	シモジウラハシ	アタゴハシ	トイダハシ
橋梁名	下地薬橋	愛后橋	樋田橋
橋梁番号	3073	3074	3075
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	谷山10号線	谷山11号線	町川原13号線
路線番号	1810	1811	2113
所在地	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山	福岡県古賀市谷山
橋長	8.30m	7.80m	5.40m
幅員	4.50m	4.80m	5.60m
架設年(西暦)	1960年	1950年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、T桁橋	単軌、T桁橋	単軌、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードバイブ 高さ:1.08m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.70m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m
添架物	無	有	不明
伸縮装置の種類	無	不明	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	無	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	88	88	88	90
フリガナ	ソトワキハシ	マナゴハシ	タニハシ	
橋梁名	外輪崎橋	マナゴ橋	谷橋	
橋梁番号	3076	3077	3078	
路線種別	その他	2線市道	2線市道	
路線名称	米多比1号線	米多比・中道線	米多比・中道線	
路線番号	1514	85	85	
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	
橋長	11.22m	6.40m	5.60m	
幅員	9.05m	11.20m	8.30m	
架設年(西暦)	2000年	2005年	1950年	
径間数	1	1	1	
材料区分	PC	RC	RC	
上部工形式	単軌、プレテン床版橋	単軌、BOXカルバート	単軌、床版橋	
下部工形式	半重力式橋台	BOXカルバート	半重力式橋台	
基礎形式	不明	不明	不明	
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.01m	材料:コンクリート 形状:ガードレール壁式 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	
添架物	有	無	無	
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	無	無	
支承の種類	不明	無	不明	
交差条件	河川	河川	河川	
設計活荷重	A活荷重	不明	不明	
架設された環境条件	通常	通常	通常	
第三者被害	無	無	無	
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし	
迂回路	有	有	有	
通学路	指定あり	指定あり	指定なし	
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし	
自動車交通量	小	小	小	
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無	
橋面防水層設置年	有	無	無	
耐震補強歴	無	無	不明	
塗装歴	無	無	無	
補修歴	無	無	無	
橋の健全性の診断	I	I	II	

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	91	92	93
フリガナ	ホンタニヤゴウキョウ	ホンタニゴウキョウ	チカミチハシ
橋梁名	本谷1号橋	本谷2号橋	近道橋
橋梁番号	3079	3080	3081
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	米多比37号線	米多比38号線	米多比25号線
路線番号	1537	1538	1525
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋長	3.34m	4.05m	6.70m
幅員	3.50m	4.30m	8.03m
架設年(西暦)	1950年	1960年	1990年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	その他(橋台)	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	無	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.22m
添架物	無	有	有
伸縮装置の種類	不明	無	エラストイク
支承の種類	エラストイク	不明	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	不明	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	94	95	96
フリガナ	トコエハシ	コウラハシ	シモニシノマエハシ
橋梁名	鳥越橋	小蒲橋	下西ノ前橋
橋梁番号	3082	3083	3084
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	米多比45号線	米多比44号線	米多比43号線
路線番号	1545	1544	1543
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋長	5.71m	6.92m	5.90m
幅員	2.80m	5.67m	4.50m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、桁橋	単軌、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:1.15m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.13m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添架物	不明	不明	不明
伸縮装置の種類	不明	不明	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	II

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	97	98	99
フリガナ	カミニシノマエハシ	ミズノミハシ	ヤマノチハシ
橋梁名	上西ノ前橋	水香橋	山ノ口橋
橋梁番号	3085	3086	3087
路線種別	その他	その他	2級市道
路線名称	米多比40号線	米多比40号線	興山園線
路線番号	1540	1540	86
所在地	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市米多比
橋長	6.30m	6.35m	5.00m
幅員	4.40m	3.90m	4.50m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m	無
添架物	不明	無	不明
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	ゴム	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	無
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	100	101	102
フリガナ	ナガハマバシ	ウジガワチゴウキョウ	ウジガワチゴウキョウ
橋梁名	長葉山橋	宇治川1号橋	宇治川2号橋
橋梁番号	3088	3091	3092
路線種別	2級市道	その他	その他
路線名称	興山園線	藤野6号線	藤野61号線
路線番号	86	1462	1461
所在地	福岡県古賀市久多比	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市米多比
橋長	4.40m	6.20m	13.50m
幅員	5.00m	5.90m	14.10m
架設年(西暦)	1960年	1980年	1986年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、床版橋	単軌、BOXカルバート
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	BOXカルバート
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.96m
添架物	不明	有	無
伸縮装置の種類	不明	無	無
支承の種類	ゴム	ゴム	無
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	無	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定あり
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	103	104	105
フリガナ	ウジガワサゴウキョウ	ウジガワゴウキョウ	ウジガワゴウキョウ
橋梁名	宇治川3号橋	宇治川4号橋	宇治川5号橋
橋梁番号	3093	3094	3095
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	米多比29号線	藤野51号線	藤野51号線
路線番号	1529	1452	1451
所在地	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野
橋長	6.60m	3.31m	3.50m
幅員	3.10m	3.30m	2.70m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1960年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	RC	RC
上部工形式	単軌、プレテン床版橋	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	その他(橋台)	重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	無	無	無
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	無	無
支承の種類	ゴム	エラストイト	エラストイト
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	106	107	108
フリガナ	ウジガワコウゴウキョウ 宇治川6号橋	カイジバン 貝地橋	フルノバン 古野橋
橋梁名			
橋梁番号	3096	3097	3098
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	藤野51号線	藤野50号線	藤野51号線
路線番号	1451	1450	1451
所在地	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野
橋長	2.20m	3.70m	3.27m
幅員	4.20m	3.60m	4.76m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重式橋台	半重式橋台	重式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	無	無
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	不明	エアスタイト
支承の種類	不明	ゴム	エアスタイト
交差条件	河川	水路	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は()裏とす。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	109	110	111
フリガナ	ナカムラバン 中村橋	ヨシタミバン 吉住橋	イシハラニコウキョウ 石原2号橋
橋梁名			
橋梁番号	3099	3100	3101
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	藤野24号線	藤野45号線	藤野17号線
路線番号	1434	1445	1417
所在地	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市藤野
橋長	13.73m	13.85m	10.40m
幅員	4.00m	4.40m	3.70m
架設年(西暦)	1950年	1960年	1936年
径間数	2	2	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	不明、床版橋	単純、床版橋	単純、T桁橋
下部工形式	半重式橋台、壁式橋脚	半重式橋台、壁式橋脚	半重式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.05m	材料:コンクリート 形状:ガードレール 高さ:0.13m
添架物	不明	有	不明
伸縮装置の種類	不明	エアスタイト	無
支承の種類	ゴム	エアスタイト	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	III

※ 架設年:指定の場合は()裏とす。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	112	113	114
フリガナ	タナカバシ	キヨタキバシ	アカネバシ
橋梁名	田中橋	清瀬橋	赤根橋
橋梁番号	3102	3104	3105
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	蕨野18号線	蕨野5号線	蕨野6号線
路線番号	1418	1405	1406
所在地	福岡県古賀市蕨野	福岡県古賀市蕨野	福岡県古賀市蕨野
橋長	13.16m	9.50m	9.80m
幅員	4.30m	4.50m	3.00m
架設年(西暦)	1960年	1922年	1950年
径間数	2	1	1
材料区分	鋼	RC	RC
上部工形式	不明、H桁橋	単純、T桁橋	単純、T桁橋
下部工形式	逆T式橋台、壁式橋脚	半重力的橋台	半重力的橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:コンクリート 形状:橋梁用防護柵 高さ:0.72m	無
添架物	不明	無	無
伸縮装置の種類	不明	無	無
支承の種類	その他	不明	不明
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	不明	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	III	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	115	116	117
フリガナ	クルマヤバシ	ヤマノクチニコウキョウ	カミコモバシ
橋梁名	車屋橋	山ノ口号橋	上蕨野橋
橋梁番号	3106	3107	3108
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	蕨野8号線	蕨野8号線	蕨野8号線
路線番号	1408	1408	1408
所在地	福岡県古賀市蕨野	福岡県古賀市蕨野	福岡県古賀市蕨野
橋長	9.60m	4.20m	10.60m
幅員	5.10m	4.52m	4.70m
架設年(西暦)	1960年	1960年	1966年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	RC	鋼
上部工形式	単純、プレテン床版橋	単純、T桁橋	単純、H桁橋
下部工形式	半重力的橋台	半重力的橋台	半重力的橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.10m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.85m
添架物	無	無	無
伸縮装置の種類	無	不明	無
支承の種類	ゴム	ゴム	鋼製
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	無	無
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	不明
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	II	I	III

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	118	119	120
フリガナ	コタニバス 小谷橋	イツツガワジュウゴウキョウ 井筒川10号橋	イツツガワヨコゴウキョウ 井筒川4号橋
橋梁名			
橋梁番号	3109	3110	3111
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	蕨野8号線	小竹23号線	小竹7号線
路線番号	1408	2323	2307
所在地	福岡県古賀市蕨野	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋長	4.96m	4.58m	4.00m
幅員	4.12m	7.30m	5.20m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、床版橋
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.86m
添架物	不明	無	有
伸縮装置の種類	不明	エラストイト	エラストイト
支承の種類	ゴム	エラストイト	エラストイト
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	無	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	121	122	123
フリガナ	イツツガワヨコゴウキョウ 井筒川5号橋	ハンダエゴウキョウ ハンダ2号橋	ハヤシダイチゴウキョウ 林田1号橋
橋梁名			
橋梁番号	3112	3113	3114
路線種別	その他	その他	2級市道
路線名称	小竹22号線	小竹1号線	葉王寺・蕨野線
路線番号	2322	2321	92
所在地	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市米多比
橋長	4.72m	2.65m	2.50m
幅員	5.10m	4.45m	9.32m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1980年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単純、床版橋	単純、床版橋	単純、BOXカルバート
下部工形式	半重力式橋台	半重力式橋台	BOXカルバート
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.78m
添架物	有	有	不明
伸縮装置の種類	エラストイト	不明	無
支承の種類	エラストイト	エラストイト	無
交差条件	河川	水路	道路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏きとする。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	124	125	126
フリガナ	ハヤシダニゴウキョウ	タチバナダバン	ナカガワジョウゴウキョウ
橋梁名	林田2号橋	立花田橋	中川10号橋
橋梁番号	3115	3116	3117
路線種別	2級市道	2級市道	その他
路線名称	栗王寺・藤野線	栗王寺・藤野線	釜内108号線
路線番号	92	92	1358
所在地	福岡県古賀市藤野	福岡県古賀市米多比	福岡県古賀市釜内
橋長	2.20m	8.10m	4.56m
幅員	19.00m	8.70m	4.60m
架設年(西暦)	1980年	1979年	1980年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	PC	RC
上部工形式	単軌、BOXカルバート	単軌、プレキャスト床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	BOXカルバート	半重方式橋台	半重方式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	無	材料:コンクリート 形状:その他 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.88m
添架物	不明	不明	無
伸縮装置の種類	無	不明	エラストイド
支承の種類	無	ゴム	エラストイド
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	無
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏とす。

○橋の基本諸元及び健全性

整理番号	127	128	129
フリガナ	ヒノバン	イツツガワロウゴウキョウ	イツツガワナナゴウキョウ
橋梁名	日野橋	井筒川6号橋	井筒川7号橋
橋梁番号	3118	3119	3120
路線種別	1級市道	その他	その他
路線名称	石丘線	小竹33号線	小竹34号線
路線番号	15	2333	2334
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋長	2.30m	3.84m	3.90m
幅員	7.70m	6.20m	5.10m
架設年(西暦)	1980年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、BOXカルバート	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	BOXカルバート	半重方式橋台	半重方式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.90m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.95m
添架物	無	有	有
伸縮装置の種類	無	無	無
支承の種類	無	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定なし	指定なし
バス路線	指定あり	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※架設年:推定の場合は()裏とす。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	130	131	132
フリガナ	サカガワハシ	ハナミチリコセンキョウ	チドリハシ
橋梁名	笹川橋	花鳥千鳥跨線橋	千鳥橋
橋梁番号	3121	3122	3123
路線種別	その他	1級市道	その他
路線名称	町川原17号線	花見・佐谷線	千鳥27号線
路線番号	2117	1	327
所在地	福岡県古賀市青柳町	福岡県古賀市花見東6丁目	福岡県古賀市久保
橋長	3.65m	187.00m	10.05m
幅員	4.25m	12.80m	10.30m
架設年(西暦)	1970年	1987年	1988年
径間数	1	9	1
材料区分	RC	PC	PC
上部工形式	単軌、床版橋	不明、プレテン桁橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	重力式橋台	逆T式橋台、張出し式橋脚(角)	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.93m	材料:不明 形状:不明 高さ:1.20m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.00m
添架物	無	不明	有
伸縮装置の種類	不明	鋼製	ゴムジョイント
支承の種類	エラスタイト	ゴム	ゴム
交差条件	水路	鉄道	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	氾濫地区	通常
第三者被害	無	有	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	無	有	有
通学路	指定なし	指定あり	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	大	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	不明	不明
耐震補強歴	無	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	II	I

※ 架設年:指定の場合は() 裏きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	133	134	135
フリガナ	イツツガワハチゴウキョウ	イツツガウキョウキョウ	イツツガウジュウチゴウキョウ
橋梁名	井筒川18号橋	井筒川19号橋	井筒川11号橋
橋梁番号	3124	3125	3126
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	小竹18号線	小竹14号線	小竹52号線
路線番号	2343	2344	2352
所在地	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹	福岡県古賀市小竹
橋長	3.85m	3.91m	3.90m
幅員	4.90m	5.58m	6.60m
架設年(西暦)	1970年	1970年	1970年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、床版橋	単軌、床版橋
下部工形式	重力式橋台	重力式橋台	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.96m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.97m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添架物	有	有	無
伸縮装置の種類	エラスタイト	エラスタイト	無
支承の種類	エラスタイト	エラスタイト	ゴム
交差条件	河川	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定あり	指定あり	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	無	無	無
耐震補強歴	無	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 裏きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	136	137	138
フリガナ	ムラナカゴウキョウ	ハナミナミキョウキョウ	カンダハシ
橋梁名	村中3号橋	花見南1号橋	神田橋
橋梁番号	3127	3128	3129
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	薬王寺9号線	花見132号線	青柳59号線
路線番号	1609	232	2259
所在地	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市千鳥2丁目	福岡県古賀市青柳
橋長	5.75m	6.84m	10.43m
幅員	5.00m	3.02m	8.79m
架設年(西暦)	1993年	1992年	1971年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	PC	PC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、フレテン床版橋	単軌、フレテン床版橋
下部工形式	重力式橋台	その他(橋台)	半重力式橋台
基礎形式	不明	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.05m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:0.98m
添架物	無	有	不明
伸縮装置の種類	不明	無	不明
支承の種類	不明	ゴム	ゴム
交差条件	河川	水路	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	塩害地区	通常
第三者被害	無	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	不明	不明	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	139	140	141
フリガナ	シノバヤシバシ	ヤシキバシ	ナカガワトウテンセンレンラウキョウ
橋梁名	篠林橋	屋敷橋	中川・東田橋連絡橋
橋梁番号	3130	3131	3132
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	篠林1号線	薬王寺9号線	古賀37号線
路線番号	1131	1609	837
所在地	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市薬王寺	福岡県古賀市野天神3丁目
橋長	21.80m	7.70m	14.80m
幅員	12.80m	3.50m	10.80m
架設年(西暦)	2013年	1993年	1980年
径間数	1	1	1
材料区分	PC	PC	RC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、フレテン床版橋	単軌、BOXカルバート
下部工形式	逆丁式橋台	重力式橋台	BOXカルバート
基礎形式	直接基礎	不明	不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護欄 高さ:1.00m	材料:鋼 形状:ガードフェンス 高さ:1.104m	材料:鋼 形状:その他 高さ:1.15m
添架物	有	無	無
伸縮装置の種類	ゴムジョイント	不明	無
支承の種類	ゴム	不明	無
交差条件	河川	河川	道路
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	通常	通常	塩害地区
第三者被害	無	無	有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定なし	指定なし
自動車交通量	小	小	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	不明
橋面防水層設置年	有	無	不明
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:指定の場合は() 記号とする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	142	143	144
フリガナ	チドリナナゴウセンゴドウキョウ	チュウガンキョウゴウバシ	クリハラゴウキョウ
橋梁名	千鳥7号線跨道橋	中瀬給4号橋	粟原2号橋
橋梁番号	3133	3134	3135
路線種別	その他	その他	その他
路線名称	千鳥7号線	青柳14号線	米多比34号線
路線番号	307	2214	1534
所在地	福岡県古賀市東通5丁目	福岡県古賀市青柳	福岡県古賀市米多比
橋長	14.80m	7.55m	5.90m
幅員	7.50m	27.00m	2.65m
架設年(西暦)	1980年	1980年	1950年
径間数	1	1	1
材料区分	RC	RC	RC
上部工形式	単軌、BOXカルバート	単軌、BOXカルバート	単軌、ラーメン橋
下部工形式	BOXカルバート	BOXカルバート	その他(橋台)
基礎形式	不明	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:その他 高さ:1.15m	材料:鋼 形状:ガードレール 高さ:1.09m	無
添架物	不明	無	不明
伸縮装置の種類	無	無	不明
支承の種類	無	無	不明
交差条件	道路	河川	河川
設計活荷重	不明	不明	不明
架設された環境条件	城曹地区	通常	通常
第三者被害	有	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし	指定なし
迂回路	有	有	有
通学路	指定なし	指定なし	指定なし
バス路線	指定なし	指定あり	指定なし
自動車交通量	小	中	小
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無	無
橋面防水層設置年	不明	無	無
耐震補強歴	不明	無	不明
塗装歴	無	無	無
補修歴	無	無	無
橋の健全性の診断	I	I	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 橋の基本諸元及び健全性

整理番号	145	146
フリガナ	トウテンカウキョウリョウ	インハラゴホウキョウ
橋梁名	東天川橋梁	石原自歩道橋
橋梁番号	3136	3137
路線種別	2級市道	その他
路線名称	翁、汐入線	久保1号橋
路線番号	52	651
所在地	福岡県古賀市花見南3丁目	福岡県古賀市新久保1丁目
橋長	12.80m	33.26m
幅員	3.60m	3.80m
架設年(西暦)	1986年	1987年
径間数	1	2
材料区分	RC	PC
上部工形式	単軌、床版橋	単軌、プレテン床版橋
下部工形式	逆丁式橋台	半重力式橋台、張出し式橋脚(RC)
基礎形式	不明	不明
防護柵(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.1m	材料:鋼 形状:橋梁用防護柵 高さ:1.1m
添架物	無	無
伸縮装置の種類	特殊合材	ゴム
支承の種類	ゴム	ゴム
交差条件	河川	河川
設計活荷重	不明	不明
架設された環境条件	城曹地区	通常
第三者被害	無	無
緊急輸送道路	指定なし	指定なし
迂回路	有	有
通学路	指定あり	指定あり
バス路線	指定なし	指定なし
自動車交通量	無	無
通行制限(荷重、高さ、幅)	無	無
橋面防水層設置年	不明	無
耐震補強歴	2023年	無
塗装歴	無	無
補修歴	2023年	無
橋の健全性の診断	不明	I

※ 架設年:推定の場合は()書きとする。

○ 計画対象橋梁一覧表(道路付属物等)

➤ 1級市道:0橋 2級市道:1橋 その他:2橋

整理番号	橋梁名	路線種別	路線名	整理番号	橋梁名	路線種別	路線名
1	花見勢線入道橋	その他	花見91号線				
2	ししふ自由通路橋	その他	朝部28号筋				
3	古賀駅自由通路橋	2級市道	古賀駅・前田線				

○ 橋の基本諸元及び健全性(道路付属物等)

整理番号	フリガナ 橋梁名	1 ハナミゼンゾンドウキョウ 花見勢線入道橋	2 シシフジュウワウロキョウ ししふ自由通路橋	3 コガエキジュウワウロキョウ 古賀駅自由通路橋
橋梁番号	2561	2568		2569
路線種別	その他	その他		2級市道
路線名称	花見91号線	朝部28号線		古賀駅・前田線
路線番号	191	1028		60
所在地	福岡県古賀市十島5丁目	福岡県古賀市日吉3丁目		福岡県古賀市
橋長	26.57m	37.65m		47.70m
幅員	2.60m	3.10m		5.35m
架設年(西暦)	1979年	2008年		1988年
径間数	5	5		14
材区分	鋼	鋼		鋼
上部工形式	不明、桁橋	単軌、箱桁橋		不明、その他(鋼)
下部工形式	不明、その他(橋脚)	不明、その他(橋脚)		不明、その他(橋脚)
基礎形式	不明	不明		不明
防護欄(材料、形状、高さ)	材料:鋼 形状:ガードパイプ 高さ:0.88m	材料:鋼 形状:その他 高さ: 高さ:1.10m		材料:鋼 形状:その他 高さ:1.10m
添架物	不明	不明		不明
伸縮装置の種類	不明	不明		不明
支承の種類	その他	不明		不明
交差条件	鉄道	鉄道		鉄道
設計活荷重	不明	不明		不明
架設された標準条件	塩害地区	塩害地区		塩害地区
第三者被害	有	有		有
緊急輸送道路	指定なし	指定なし		指定なし
迂回路	有	有		有
通学路	指定あり	指定なし		指定なし
バス路線	指定なし	指定なし		指定なし
自動車交通量	小	大		大
通行制限(荷重、高さ、幅)	不明	不明		不明
橋面防水層設置年	不明	不明		不明
耐震補強歴	不明	不明		不明
塗装歴	有	不明		不明
補修歴	無	無		無
橋の健全性の診断	II	I		II

※ 架設年:推定の場合に()表示とする。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理番号	橋梁名	架設年次	供用年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果 点検年度 判定区分	対策の内容・時期 (○:定期点検 △:調査・設計 ●:補修 ◎:架替え ×:撤去・移管等)										措置内容	
							2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年		
1	前田橋	1955	67	39.98	5.20	2019 I		○				○						点検
2	落合橋	1975	47	30.29	5.00	2019 I		○				○						点検
3	庄橋	1980	42	39.28	16.80	2019 I		○				○						点検
4	五楽橋	1962	60	33.35	4.10	2021 II			○			△			○	●		修繕
5	新五楽橋	1982	40	33.28	5.30	2019 I		○				○						点検
6	石原橋	1959	63	31.50	4.20	2019 I		○				○						点検
7	掘田橋	1959	63	30.20	5.60	2019 I		○				○						点検
8	久保橋	1959	63	27.49	6.45	2019 I		○				○						点検
9	蔵園橋	1969	53	24.70	6.20	2019 I		○				○						点検
10	大人橋	1974	48	19.12	7.00	2019 I		○				○						点検
11	麦田橋	1977	45	16.68	7.20	2019 I		○				○						点検
12	高柳橋	1960	62	38.10	3.00	2019 I		○				○						点検
13	迎田橋	1959	63	24.08	3.40	2021 II			○			△			○	●		修繕
14	馬渡橋	1998	24	27.80	17.80	2019 I		○				○						点検
15	樋門田橋	1956	66	16.13	3.50	2021 I			○			○				○		点検
16	久保跨道橋	1969	53	34.50	8.80	2021 II			○			△			●	○		修繕
17	深原跨道橋	1976	46	39.40	4.80	2022 II						△			●			修繕
18	小浦跨道橋	1973	49	52.40	6.10	2022 II						△			●			修繕
19	栗原橋	1980	42	10.95	8.80	2020 I			○						○			点検
20	新田中橋	1979	43	15.70	8.70	2019 I		○							○			点検
21	鰯田橋	1978	44	27.09	8.70	2019 I		○							○			点検
22	花津留川橋梁	2015	7	77.40	5.12	2019 I		○							○			点検
23	鹿部跨線橋	2021	1	262.75	8.00	2022 I					○						○	点検
24	中間給3号橋	1990	32	5.10	24.25	2021 I				○						○		点検
25	中川・東田線JR橋	1996	26	14.80	15.00	2020 II			○					△		○	●	修繕
26	千鳥灣1号橋	1946	76	2.45	3.74	2022 I					○						○	点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理番号	橋梁名	架設年次	供用年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果 点検年度 判定区分	対策の内容・時期 (○:定期点検 △:調査・設計 ●:補修 ◎:架替え ×:撤去・移管等)							措置内容			
							2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年		2030年	2031年	2032年
27	千鳥溝2号橋	1950	72	2.49	3.60	2019 I	○					○					点検
28	千鳥溝3号橋	1970	52	2.20	4.80	2022 I				○							点検
29	西大橋	1985	37	12.00	9.85	2021 I			○						○		点検
30	中川2号橋	1985	37	11.50	2.70	2020 II			○					○	△		修繕
31	中川3号橋	1984	38	12.20	6.20	2021 I			○						○		点検
32	中川5号橋	1970	52	4.50	8.40	2020 I			○						○		点検
33	中川6号橋	1970	52	3.70	6.30	2020 II			○					○	△		修繕
34	中川7号橋	1970	52	4.75	9.00	2019 I			○					○			点検
35	中川8号橋	1970	52	8.25	8.27	2020 I			○						○		点検
36	中川9号橋	1970	52	4.57	4.45	2021 III	●				○						修繕
37	浦田川1号橋	1990	32	2.90	4.10	2022 I						○					点検
38	浦田川2号橋	1950	72	3.00	3.05	2019 II							○	△			修繕
39	花宮橋	1970	52	7.00	16.00	2019 I				○					○		点検
40	牟田橋	1960	62	5.90	3.70	2019 I				○					○		点検
41	鎌田1号橋	1960	62	3.30	4.50	2020 I				○					○		点検
42	鎌田2号橋	1970	52	3.75	9.85	2021 I						○				○	点検
43	鎌田3号橋	1950	72	2.82	3.99	2020 I				○					○		点検
44	落合2号橋	1980	42	2.80	4.75	2022 I								○			点検
45	牟田2号橋	1960	62	4.20	6.85	2020 I				○					○		点検
46	横杖橋	1960	62	3.48	6.20	2019 II								○	△		修繕
47	沼尻1号橋	1960	62	4.71	6.70	2019 I				○					○		点検
48	沼尻2号橋	1960	62	4.80	8.10	2019 I				○					○		点検
49	沼尻3号橋	1960	62	2.35	3.35	2022 I						○					点検
50	四反田橋	1960	62	2.20	3.65	2022 I						○					点検
51	竹ノ下橋	1960	62	2.05	6.05	2021 II							○		△		修繕
52	下戸藤橋	1960	62	2.70	3.60	2020 I						○			○		点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

古賀市 橋梁長寿命化年次計画表(橋梁)

整理番号	橋梁名	架設年次	供用年数	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果 判定区分	対策の内容・時期 (○:定期点検 △:調査・設計 ●:補修 ◎:架替え ×:撤去・移管等)							措置内容				
							2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年		2030年	2031年	2032年	
53	百田橋	1981	41	2.25	5.30	I				○								点検
54	中間給1号橋	1950	72	4.50	4.75	I			○							○		点検
55	中間給2号橋	1950	72	5.30	4.35	I									○			点検
56	村中5号橋	1980	42	4.05	6.00	I				○							○	点検
57	村中6号橋	1960	62	2.71	8.68	I				○							○	点検
58	村中7号橋	1960	62	2.90	3.83	I								○				点検
59	ハンダ1号橋	1970	52	2.65	8.00	I							○				○	点検
60	前田3号橋	1970	52	2.60	5.00	I							○					点検
61	井筒川1号橋	1960	62	7.10	4.10	I				○						○		点検
62	井筒川2号橋	1960	62	6.20	4.70	II										○	△	修繕
63	井筒川3号橋	1970	52	5.80	3.60	I									○		○	点検
64	天神橋	1960	62	13.63	3.00	II									○		△	修繕
65	髭園橋	1970	52	13.16	6.80	I										○		点検
66	下瀬戸橋	1950	72	10.54	3.95	I											○	点検
67	上瀬戸橋	1950	72	11.10	4.70	I											○	点検
68	深町橋	1960	62	9.05	5.20	I											○	点検
69	前田2号橋	1960	62	11.00	4.00	I											○	点検
70	薬王寺橋	1980	42	9.20	7.72	I										○		点検
71	村中1号橋	1988	34	6.70	4.60	I											○	点検
72	村中2号橋	1992	30	6.70	5.00	I											○	点検
73	村中4号橋	1990	32	6.70	4.60	I											○	点検
74	根神橋	1960	62	8.12	4.59	I											○	点検
75	御寺橋	1970	52	6.50	4.80	I											○	点検
76	御宮橋	1960	62	7.10	4.30	I											○	点検
77	河内橋	1950	72	6.50	10.10	I											○	点検
78	鬼王橋	1950	72	5.20	3.90	I											○	点検

※架設年次および供用年数の()書きは推定である。

